

めざす成果及び戦略 1-2 【地域活動協議会による自律的な地域運営の促進】

計画	めざす状態＜概ね3～5年を念頭に設定＞ 防災、防犯など安心・安全なまちづくりにかかる取組及び地域福祉、子育て支援、地域コミュニティづくりなどその他地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態	戦略（中期的な取組の方向性） ・地域活動協議会のめざすべき姿に向けて、コロナ禍に対応しながら、地域の実情に即したきめ細やかな支援を行い、仕組みの定着を図ることで、より多くの住民参加による自律的な地域運営を実現する。
	アウトカム（成果）指標（めざす状態を数値化した指標） ○区民モニターアンケートにおいて、地域運営にさまざまな活動主体が参画し、地域が一体となって自律的に運営されていると感じていると回答した割合 29年度：78.6% → 元年度：79.6% → 2年度：69.0% 4年度：85%以上 ○地域活動協議会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思うと回答した割合 元年度：93.1% → 2年度：93.4% 4年度：94%以上	

自己評価	戦略のアウトカム指標に対する有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカム指標の達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
		A: 順調 B: 順調でない	
	戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない	

具体的取組 1-2-1 【地域活動協議会の自律的な運営の支援】

	2 決算額	13,612千円	3 予算額	13,590千円	4 予算額	15,123千円
計画	当年度の取組内容	プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）				
	まちづくりセンターによる地域実情に即した助言や指導、コーディネート等を通じて、新たな人材や財源を確保し、コロナ禍に対応しながら、地域活動協議会の自律的な地域運営に向けた取組を支援する。 ・地域活動協議会に対する自律的な地域運営に向けたまちづくりセンターが行う助言や指導、コーディネート等：通年 地域活動協議会に求められる準行政機能、総意形成機能について、役員や構成団体、地域住民の理解が深まるよう積極的に働きかけるとともに、備えておくべき要件の確認を行う（全11地域） まちづくりセンター等と連携して、持続的な活動のための財源確保の手法としてのCB/SB化、社会的ビジネス化を支援する。 ・地域実情に応じたCB/SBの取組支援：通年	地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると思うと回答した割合：94%以上 【撤退・再構築基準】 地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると思うと回答した割合が90%未満であれば事業を再構築する。 前年度までの実績 3年度（9/12月末時点） ・まちづくりセンターと連携し、コロナ禍に対応した地域活動協議会の自律的な地域運営に向けた支援を実施 ・補助金に係る説明会をコロナ禍に対応してオンライン併用で開催し、役員等に対して準行政機能、総意形成機能について説明（7月・12月） ・CB/SB起案件数（1件） ・コロナ禍において、オンラインの活用及び環境整備の支援を実施 ・新型コロナウイルスワクチンの接種予約について、高齢等でウェブ予約が困難な方のため、職員を派遣し、地域との協働で予約支援を実施				

中間振り返り	プロセス指標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退・再構築基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、取組を見直す —：プロセス指標未設定（未測定）

自己評価	当年度の取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	プロセス指標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退・再構築基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、取組を見直す —：プロセス指標未設定（未測定）

具体的取組 1-2-2

【地域課題解決に向けた取組の支援】

		2決算額	21,240千円	3予算額	31,727千円	4予算額	32,550千円
計画	当年度の取組内容	プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）					
	<p>地域コミュニティの活性化や防災、防犯対策の強化、子ども・青少年の育成、健康・福祉の向上など、地域活動協議会による地域課題への対応・解決に向けた取組を支援するため、地域の実情に即して主体的かつ柔軟に活用できるよう財政的支援を行う。</p> <p>・区長が指定した分野の活動を行った地域：全11地域</p> <p>地域活動協議会をはじめ地縁型団体の課題やニーズを把握し、他の活動主体との連携協働のメリットが実感されるよう事例の情報提供を行い、新たな連携が創出されるよう支援を行うとともに、多様な活動主体間の連携事例について情報発信を行う。</p> <p>・地域実情に応じた多様な活動主体間の連携支援、情報発信：通年</p>	<p>本補助制度を地域の実情に即して有効に活用できたと感じている地域活動協議会の割合：90%以上</p> <p>【撤退・再構築基準】</p> <p>地域活動協議会の構成団体等が本補助制度を地域の実情に即して有効に活用できたと感じている割合が70%以下であれば事業を再構築する。</p>					
		前年度までの実績					
		<p>3年度（9/12月末時点）</p> <p>・全11地域に補助金を交付（4～5月）</p> <p>・補助金に係る説明会をコロナ禍に対応してオンライン併用で開催（7月・12月）</p> <p>・新型コロナウイルスワクチンの接種予約について、高齢等でウェブ予約が困難な方のため、職員を派遣し、地域との協働で予約支援を実施</p> <p>地域活動協議会と企業、大学等との連携（7件）</p>					

中間振り返り	プロセス指標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	<p>①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない</p> <p>②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない</p> <p>③：撤退・再構築基準未達成</p>		
	戦略に対する取組の有効性	<p>ア：有効であり、継続して推進</p> <p>イ：有効でないため、取組を見直す</p> <p>ー：プロセス指標未設定（未測定）</p>	

自己評価	当年度の取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	プロセス指標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	<p>①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>③：撤退・再構築基準未達成</p>		
	戦略に対する取組の有効性	<p>ア：有効であり、継続して推進</p> <p>イ：有効でないため、取組を見直す</p> <p>ー：プロセス指標未設定（未測定）</p>	

具体的取組 1-2-3

【地域活動協議会の認知度向上のための支援】

	2決算額	-	円	3予算額	-	円	4予算額	-	円
計画	当年度の取組内容		プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）						
	まちづくりセンターと連携しながら、地域実情に合った手法による地域活動協議会の広報活動を支援する。		区民モニターアンケートにおいて、地域活動協議会を知っていると回答した割合：57%以上						
	さまざまな広報媒体を活用して、地域活動協議会の認知度向上に取り組む。 ・認知度向上のための支援：全11地域		【撤退・再構築基準】 区民モニターアンケートにおいて、地域活動協議会を知っていると回答した割合が50%未満であれば支援の方法を再構築する。						
		前年度までの実績							
		3年度（9/12月末時点） ・まちづくりセンターによる地域活動協議会の広報活動の助言、指導 ・区広報紙（4月）で地域活動協議会の紹介記事を掲載 ・区役所行政モニターで地域活動協議会の紹介記事を掲載 ・地域活動協議会紹介チラシを作成し、区内転入者に配布、区役所内に配架 ・区のツイッター、まちづくりセンターフェイスブックで地域活動協議会の活動を紹介 ・各地域発行の広報紙を区HPに掲載、区役所、区民センター内に配架							

中間振り返り	プロセス指標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須						
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退・再構築基準未達成								
	戦略に対する取組の有効性								
		ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、取組を見直す ―：プロセス指標未設定（未測定）							

自己評価	当年度の取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須						
	プロセス指標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須						
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退・再構築基準未達成								
戦略に対する取組の有効性		ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、取組を見直す ―：プロセス指標未設定（未測定）							

具体的取組 3-3-3

【発達障がい児の養育者支援】

		2決算額	125千円	3予算額	195千円	4予算額	195千円
計画	当年度の取組内容	プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）					
	発達にかたよりのある子どもを育てている養育者から実体験に基づく助言を受け、相談に対応していくことで、養育者の子育て負担を軽減するとともに子どもの健やかな成長を支援する。また、養育者同士が交流する場を提供し、共感、支え合うことで社会からの孤立を防ぐ ・ピアカウンセリング 7回（1回につき22組） ・意見交換会 1回	「相談できる場を利用したことで、不安が軽減された」と答えた養育者の割合：80%以上 【撤退・再構築基準】 「相談できる場を利用したことで、不安が軽減された」と答えた養育者の割合が70%以下であれば事業を再構築する。					
		前年度までの実績					
		30年度 ・ピアカウンセリングの開催：7回（参加者数10人） ・講演会の開催：1回（5月）、交流会の開催：1回（3月） 元年度 ・ピアカウンセリングの開催：7回（参加者数10人） ・講演会の開催：1回（5月）、交流会はコロナ感染症防止のため中止 2年度 ・ピアカウンセリングの開催：6回 交流会講演会はコロナ感染症防止のため中止 3年度(9/12月末現在) ・ピアカウンセリングの開催：-46回					

中間振り返り	プロセス指標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退・再構築基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、取組を見直す ー：プロセス指標未設定(未測定)	

自己評価	当年度の取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	プロセス指標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退・再構築基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、取組を見直す ー：プロセス指標未設定(未測定)

具体的取組 3-3-4

【児童虐待未然防止・早期発見機能の強化・DV被害者の支援】

	2決算額	4,496千円	3予算額	4,899千円	4予算額	6,227千円
計画	当年度の取組内容		プロセス(過程)指標(取組によりめざす指標)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園への巡回等により、虐待リスクの判断や対応についての指導や助言を行うことで虐待対応力の向上を図り「子育て支援室」との連携を強化する。 ・妊娠期から出産後の精神的にしんどさを抱える母親のメンタルヘルス支援を実施し児童虐待の未然防止・早期発見の強化を図る。 ・要保護児童対策地域協議会において、関係機関と連携し児童虐待ケースの的確な対応と支援に向け確実に進捗管理を行う。 虐待防止講演会や意見交換を実施するとともに、コロナ禍により大きく生活環境等が変化し悩みを抱える子育て世帯等が「子育て支援室」と繋がりがやすい体制を構築する。 ・4歳児へのポピュレーションアプローチを行うとともに特に未就園児について状況把握を行い、必要に応じた継続的支援に繋げる。 ・ヤングケアラーの社会的認知度向上のため広報・啓発を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・区内保育施設等へのアンケート「児童虐待対応への理解が深まった」との回答: 7690%以上 【撤退・再構築基準】 ・上記指標が50%以下の場合は事業を再構築する。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会 実務者会議の開催:12回 ・子育て支援連絡会の開催 ・児童虐待防止啓発の広報 ・小グループの母親教室を開催 ・DV被害者の迅速かつ安全な保護及び各種法制度利用に関する援助などの自立支援を行う。 		<p>前年度までの実績</p> <p>元年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会 実務者会議の開催:12回 ・子育て支援連絡会の開催:12回 ・児童虐待防止や子育て支援に関する講演会:2回(7月、12月) ・DV相談件数:30年度52件 元年度43件 2年度80件 3年度5697件(9/12月末) <p>2年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育施設等を巡回し、虐待リスクの判断や対応についての指導や助言を実施 ・小グループの母親教室を開始 ・要保護児童対策地域活動協議会 実務者会議の開催:12回 ・子育て支援連絡会の開催:5回 <p>3年度(9/12月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域活動協議会 実務者会議の開催:69回 ・子育て支援連絡会の開催:36回 			

中間振り返り	プロセス指標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須			
	<ul style="list-style-type: none"> ①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退・再構築基準未達成 					
	戦略に対する取組の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ア: 有効であり、継続して推進 イ: 有効でないため、取組を見直す 一: プロセス指標未設定(未測定) 			

自己評価	当年度の取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須			
	プロセス指標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須			
	<ul style="list-style-type: none"> ①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退・再構築基準未達成 					
戦略に対する取組の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ア: 有効であり、継続して推進 イ: 有効でないため、取組を見直す 一: プロセス指標未設定(未測定) 				

具体的取組 3-3-7 【こどもの貧困対策の推進】

		2決算額	— 円	3予算額	— 円	4予算額	— 円
計 画	当年度の取組内容	プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）					
	小中学校における福祉的課題を抱えるこどもと世帯を、学校と区役所と地域が連携して適切な支援につなぐ（「大阪市こどもサポートネット」事業） ・小中学校と連携しヤングケアラーの早期発見に努め、支援につなげていく ・区内小中学校でスクリーニング会議Ⅱを開催	こどもサポート推進員や新SSW等の配置が、教育分野と関係機関等による福祉分野の支援等につながったと評価した小中学校が70%以上とする。 【撤退・再構築基準】 福祉分野の支援等につながったと評価した小中学校が50%を下回った場合、事業手法の再構築を図る。					
		前年度までの実績					
		・平成28年2月 第1回大阪市こどもの貧困対策推進本部会議開催 ・平成28年6～7月 「子どもの生活に関する実態調査」を実施 ・平成29年4月 「子どもの生活に関する実態調査報告書（概要版）」公表 ・平成30年4月 こどもサポートネット事業スタート （平成30年～31年港区を含む7区でモデル事業として実施） 区内小中学校で順次スクリーニング会議Ⅱを開催 対象児童・生徒ケース数：延べ115件 ・元年度 対象児童・生徒ケース数：延べ83件 ・2年度 スクリーニング会議Ⅱを開催59回 対象児童・生徒ケース数：延べ111件 ・3年度 スクリーニング会議Ⅱを開催2847回（9/12月末現在）					

中 間 振 り 返 り	プロセス指標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退・再構築基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、取組を見直す —：プロセス指標未設定（未測定）	

自 ら 評 価	当年度の取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	プロセス指標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退・再構築基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、取組を見直す —：プロセス指標未設定（未測定）	